

6. 12. 5
1972

いまだわがわが...
 本會は市海防内トスパイを以て市海防を切り崩さうとてあること
 へ會ははすえんじろを據りて市海防の穴をシブ水が根にまかやうとあること
 ▲テンプロは市海防の逆作信
 イテンプロは市海防を「カクラン」する為海防を第一と解明は合解を待て海防
 内に海防を重んじてあることと「マニマニ」にまかやうとあること
 ロテンプロは「えんじろ」にみた事を以て返つて海防のスパイと解明は切解
 に援助してあること

警視總監 丸山 吉
 警視總監 丸山 吉
 警視總監 丸山 吉

昭和五年十一月二十八日

警視總監 丸山 吉

内務大臣 安達謙藏 殿
 社會 局長 官 殿
 各府縣長官 殿 (八ヶ府府見)

洋子又電工場労働争議ニ関スル件 (第廿報解決)

要旨 前報後高府官房主事、幹渡ニ依リ守備再三會見交渉、結果
 本月廿一日午前十一時山場解決セリ

標記労働争議、前報後高府官房主事、幹渡ニ依リ労働争議三會見
 交渉、結果本月廿一日午前十一時山場解決セリ、其、至道大要左
 表會見、別記書等ニ補印、上山場解決セリ、其、至道大要左